

2026 年度 高3英語総合 S 〈夏期英文解釈演習 1/3〉

解答解説

(A)

重要語彙・語句・構文

- 1 densely [dénslɪ] 密集して、密に
- 2 populate [pápjələit] ～に人を住まわせる、～に居住する
- 3 densely populated by ～ ～が密集して住んでいる、～が多数居住している
- 4 in close communication with ～ ～と密接に意思を通わせて、～と密接に交流して
- 5 one another 互いに、お互いに
- 6 over the surface of the earth 地球の表面全体にわたって
- 7 more and more ますます、次第に
- 8 global village 地球村、世界規模の共同体
- 9 consist of ～ ～から成り立つ、～で構成される
- 10 a great many ～ 非常に多くの～
- 11 city dweller [síti dwélər] 都市の住民
- 12 aboriginal [æbəridʒənəl] 先住民の、土着の
- 13 occupation [əkjəpéɪʃən] 職業、仕事
- 14 material wealth 物質的な豊かさ、物質的富
- 15 not only A but also B AだけでなくBも
- 16 the ways in which S V SがVする方法・あり方、SがどのようにVするか
- 17 multitude [máltitù:d] 多数、多種多様なもの / a multitude of ～「多数の～」
- 18 perception [pərsépʃən] 認識、知覚、ものの見方
- 19 be directly related to ～ ～と直接関係している

構文解説

① We live in a world densely populated by humans in close communication with one another over the surface of the earth.
[構文] We live in a world [densely populated by humans ...]. が基本構造。densely populated by humans は過去分詞句で a world を後ろから修飾し、「人間が密集して住んでいる世界」の意味。be populated by ～ は「～が住んでいる」、in close communication with one another は「互いに密接に意

思を通わせて」、over the surface of the earth は「地球の表面全体にわたって」。したがって全体で「私たちは、地球全体にわたって互いに密接に意思を通わせる人間が密集して暮らす世界に生きている」となる。

② People differ not only in their daily occupations and material wealth, but also in the ways in which they view the world around them.

[構文]not only A but also B「AだけでなくBも」の構文で、A=in their daily occupations and material wealth、B=in the ways in which they view the world around them。前置詞 in は「～の点で」を表す。the ways in which S V は「SがVする方法・あり方」で、ここでは the ways in which they view ～=how they view ～「～をどのように見るか」と考えるとよい。the world around them は「彼らを取り巻く世界」。したがって「人々は日々の仕事や物質的な豊かさだけでなく、自分たちを取り巻く世界をどのように見るかという点でも異なっている」となる。

③ This multitude of perceptions is directly related to cultural diversity around the world, a diversity that is rapidly shrinking.

[構文]文の骨格は This multitude of perceptions / is directly related to / cultural diversity ～「この多様なものの見方は文化的多様性と直接関係している」。コンマ後の a diversity は直前の cultural diversity を言い換える同格であり、that is rapidly shrinking は a diversity を修飾する関係代名詞節。shrink は「縮小する・減少する」なので、a diversity that is rapidly shrinking は直訳すれば「急速に縮小している多様性」。文脈に合わせて「その文化的多様性は急速に失われつつある」と訳すと自然である。

下線部和訳 | 採点のポイント

① Parents have always worried about where to send their children to school[1点]

where to V「どこに・どこでVすべきか」を正確に処理し、「親は昔から、子どもをどの学校に通わせるべきかを気にかけてきた」と訳せていること。where が worry about の目的語となる疑問詞+不定詞であることがポイント。

② the school, statistically speaking, does not matter as much as which adult stands in front of their children[2点]

not A as much as B「AはBほど～ではない」という比較関係を正確に捉え、「統計的に言えば、どの学校かということは、どの大人が子どもたちの前に立つかほど重要ではない」と訳せていること。比較の方向を逆にすると大きく減点。

③ Teacher quality tends to vary more within schools ... than among schools[2点]

more A than B の比較構造と、within schools「学校内で」／among schools「学校間で」の対比を正確に把握し、「教師の質は学校間よりも同じ学校内で大きく異なる傾向がある」と訳せていること。

④ even supposedly good schools[1 点]

ダッシュ内の挿入を正しく処理し、supposedly を「一般によいとされている」と訳せていること。「おそらくよい学校」とするとニュアンスがずれるため減点。

⑤ we tend to ascribe their gifts to some mystical quality[1 点]

ascribe A to B「A を B に帰する」を理解し、「彼らの才能を、ある神秘的な資質によるものとする」と訳せていること。A=their gifts、B=some mystical quality の関係を逆転させないことが重要。

⑥ that we can recognize and revere — but not replicate[1 点]

that の先行詞が some mystical quality であり、recognize / revere / replicate の共通目的語になっていることを捉え、「それと認め、敬うことはできるが、再現することはできない資質」と訳せていること。

⑦ The great teacher serves as a hero but never, ironically, as a lesson[2 点]

serve as A but never (serve) as B「Aとしては機能するがBとしては機能しない」という対比を正確に捉えること。特に lesson を単純に「授業」とせず、「他の人が学ぶことのできる手本・教訓」と文脈に即して訳し、「優れた教師は英雄として称賛されるが、皮肉にも、他の人が学ぶべき手本にはならない」などと処理できていること。

採点目安:10 点満点

9～10 点:not as much as / more within A than among B / ascribe A to B / hero と lesson の対比をすべて正確に把握し、日本語としても自然。

7～8 点:文全体の骨格と対比関係は正確だが、supposedly / revere / replicate / lesson などの語句に軽微な不正確さがある。

5～6 点:大意は取れているが、比較構文／within と among の対比／ascribe A to B／hero と lesson の対比のいずれかに重要な誤りがある。

4 点以下:比較関係や ascribe A to B の構造を捉えられず、「学校間と学校内の教師の質」「優れた教師を評価することと、その技術を再現すること」の対比が崩れている。

最重要採点ポイントは、①「どの学校か」より「誰が教えるか」が重要、②教師の質は「学校間」より「学校内」で大きく異なる、③優れた教師を「英雄」として称賛するだけで「学ぶべき手本」にはしていない、という本文の三つの対比を正確に捉えられているかどうかです。

全訳

私たちは、地球の表面全体にわたって、互いに密接に意思を通わせる人間が密集して暮らしている世界に生きている。世界はますます、一つの社会、すなわち「地球村」のように見えるようになっていく。しかし実際には、人間社会は非常に多くの集団から成り立っており、それらは、ニューヨークの都市住民、インドの稲作農民、そしてカナダ北部の先住民の狩猟民が互いに異なっているのと同じくらい、大きく異なっている。人々は、日々の仕事や物質的な豊かさの点だけでなく、自分たちを取り巻く世界をどのように見るかという点でも異なっている。このような多様なものの見方は、世界各地に見られる文化的多様性と直接関係しており、その文化的多様性は急速に失われつつある。

(B)

語彙・語句・構文

- ☐1 distinguish A from B AをBと区別する
- ☐2 what distinguishes A from B AをBと区別するもの、AとBを分けるもの
- ☐3 competent [kámpeɪənt] 有能な、十分な能力のある
- ☐4 not so much A as B AというよりむしろB、AよりもB
- ☐5 possess [pə'zɛs] ～を所有する、～を備えている
- ☐6 the judgment with which S V SがVする際の判断力
- ☐7 respond to ～ ～に対応する、～に反応する
- ☐8 notice A before S V SがVする前にAに気づく
- ☐9 be expressed 表現される、表に出される
- ☐10 when necessary 必要な場合には、必要に応じて
- ☐11 encourage A to V AにVするよう促す
- ☐12 think for oneself 自分自身で考える
- ☐13 attribute A to B AをBに帰する、AはBによるものだと考える
- ☐14 some mysterious gift 何らかの神秘的な才能
- ☐15 turn A into B AをBに変える
- ☐16 serve as ～ ～として役立つ、～の役割を果たす
- ☐17 what could serve as ～ ～として役立つもの
- ☐18 It is only when ～ that ... ～して初めて…する

太字部分の構文解説

Rarely do we realize that, by attributing their success to some mysterious gift that cannot be analyzed or acquired, we may be turning what could serve as a valuable lesson, carefully examined

and gradually applied by others, into something that is merely admired from a distance.

[構文]文頭の Rarely は否定の意味をもつ副詞であるため、Rarely do we realize ~ と倒置が起こっている。通常の語順に戻せば We rarely realize that ~「私たちは～ということにめったに気づかない」。realize の目的語となる that 節の骨格は we may be turning A into B「私たちは A を B に変えてしまっているのかもしれない」で、A=what could serve as a valuable lesson、B=something that is merely admired from a distance。what は先行詞を含む関係代名詞で、what could serve as ~「～として役立ちうるもの」を表す。carefully examined and gradually applied by others は過去分詞句で a valuable lesson の内容を補足し、「他の人々によって注意深く検討され、徐々に応用される」。また by attributing A to B は「A を B によるものと考えることによって」、that cannot be analyzed or acquired は some mysterious gift を修飾する関係代名詞節である。したがって全体は、「優れた教師の成功を分析も習得もできない神秘的な才能によるものと考えらることで、本来なら他者が学べる貴重な教訓を、遠くからただ称賛するだけのものに変えてしまっている」という意味になる。

下線部和訳 | 採点のポイント

Rarely do we realize that, by attributing their success to some mysterious gift that cannot be analyzed or acquired, we may be turning what could serve as a valuable lesson, carefully examined and gradually applied by others, into something that is merely admired from a distance.

① Rarely do we realize that ~[2 点]

Rarely による倒置を正確に処理し、「私たちは～ということにはめったに気づかない」と訳していること。Rarely do ~ を疑問文として訳すと減点。

② by attributing their success to some mysterious gift ~[2 点]

attribute A to B「A を B に帰する」を理解し、「彼らの成功を何らかの神秘的な才能によるものと考えらることで」と訳していること。by V-ing の手段・原因的な関係も重要。

③ that cannot be analyzed or acquired[1 点]

that の先行詞が some mysterious gift であることを捉え、「分析することも身につけることもできない才能」と訳していること。

④ we may be turning A into B[2 点]

文の中心構造である turn A into B「A を B に変える」を正確に把握し、may be turning を「～に変えてしまっているのかもしれない」と処理できていること。

⑤ what could serve as a valuable lesson[1 点]

what を先行詞を含む関係代名詞として捉え、「貴重な教訓として役立ちうるもの」と訳せていること。

⑥ carefully examined and gradually applied by others[1 点]

「他の人々によって注意深く検討され、徐々に応用・実践される」と適切に処理できていること。

⑦ something that is merely admired from a distance[1 点]

something ← that ～ の修飾関係を捉え、「遠くからただ称賛されるだけのもの」と訳せていること。

採点目安:10 点満点

9～10 点:倒置・修飾関係・turn A into B・what をすべて正確に把握し、日本語としても自然。

7～8 点:文の骨格は正確だが、一部の語句や修飾関係に軽微な不正確さがある。

5～6 点:大意は取れているが、Rarely の倒置／attribute A to B／turn A into B／what 節のいずれかに重要な誤りがある。

4 点以下:we may be turning A into B という文の中心構造を捉えられておらず、全体の論理関係が崩れている。

最重要採点ポイントは、文頭の倒置に惑わされず、that 節内部の骨格を「we may be turning A into B」と見抜けるかどうかです。

その他の重要構文

What distinguishes great teachers from merely competent ones is not so much the knowledge they possess as the judgment with which they respond to students, ...

[構文]文頭の What distinguishes A from B は先行詞を含む関係代名詞 what による名詞節で、文全体の主語。「A と B を区別するもの」の意味。補語部分では not so much A as B「A というよりむしろ B」が用いられ、A=the knowledge they possess、B=the judgment with which they respond to students。the knowledge [they possess] では目的格の関係代名詞が省略され、with which they respond to students は the judgment を修飾している。後続する noticing ～, changing ～, and asking ～ は現在分詞による付帯状況で、優れた教師が生徒に対応する具体的なあり方を説明している。

It is only when we examine such teachers closely that the true complexity of teaching becomes apparent.

[構文]It is only when ～ that ... は強調構文で、「～して初めて…する」の意味。強調されているのは only when we examine such teachers closely

「そのような教師を注意深く観察して初めて」。通常の語順なら The true complexity of teaching becomes apparent only when we examine such teachers closely. となる。become apparent は「明らかになる」。only を含む部分を強調することで、「優れた教師を単に称賛するのではなく、実際に分析すること」の重要性を際立たせている。

全訳

優れた教師と単に十分な能力をもつ教師とを分けるものは、彼らがもっている知識というよりもむしろ、生徒に対応する際に発揮する判断力であり、優れた教師は、生徒が口に出す前にその戸惑いに気づき、必要に応じて説明の仕方を変え、生徒が自分自身で考えるよう促す問いを投げかける。

私たちは、優れた教師の成功を、分析することも身につけることもできない何らかの神秘的な才能によるものだと考えることで、本来なら他の人々が注意深く検討し、少しずつ実践に取り入れることのできる貴重な教訓を、遠くからただ称賛するだけのものに変えてしまっているのかもしれない、ということにはめったに気づかない。

そのような教師を注意深く観察して初めて、教えるという行為が本当はどれほど複雑なものであるかが明らかになる。